

ますます高まる！北千葉道路の整備効果

その1. 広域道路ネットワークの強化・物流効率化の支援
～地域活性化の実現～

その2. 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化

その3. 救急医療・防災機能の強化

周辺道路の交通円滑化

国道408号現道は主要渋滞箇所4箇所が連担しており、特に土屋交差点では、交通混雑が顕著となっています。

今後、押畑より先のII期区間の整備により、広域交通と生活交通が分離し、交通の円滑化が期待されます。



国道408号の渋滞状況



※主要渋滞箇所：「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会(事務局：国土交通省関東地方整備局)」において、渋滞関係データから渋滞が多発している箇所を抽出し、道路利用者の意見を伺い、特定された渋滞箇所。

土屋交差点付近の渋滞の様子



整備後のI期区間



物流施設・商業施設の立地促進！

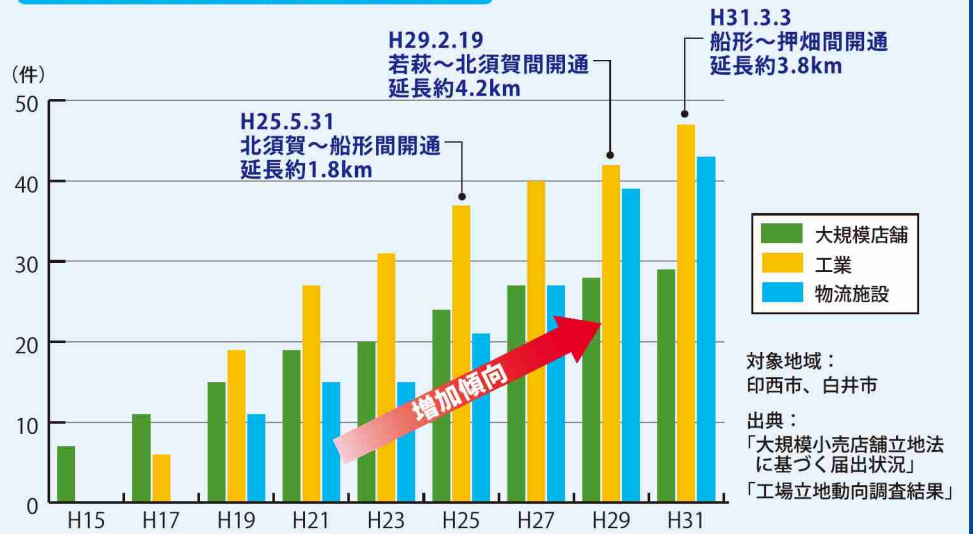
北千葉道路が延伸していることに伴い、物流施設・商業施設の立地が進んでいます。地域の経済が活性化するとともに買物の利便性が高まり、住みよいまちづくりを牽引しています。



北千葉道路周辺の主な企業立地状況



大規模店舗、工業・物流施設立地状況



印西市泉野周辺



北千葉道路は沿線地域の交通利便性の向上、経済の活性化、成田市街地の交通の円滑化、成田への観光客の誘致等にとって重要な道路であるとともに、救急医療体制、災害時における緊急輸送においても大きな役割を果たします。

災害に強いまちづくりに貢献

記録的な暴風雨となった令和元年房総半島台風等では、大雨が短期間のうちに連続して発生し、大雨や暴風による道路法面の崩落や倒木、道路冠水等が生じ、多くの道路で通行止めとなりました。

北千葉道路の整備により、東西方向の連絡、災害物資の輸送、緊急車両の通行等のための災害に強いネットワークが構築されます。

大雨が降ると多くの箇所道路冠水により交通規制がかかり、緊急車両の走行や物資輸送が困難になります。北千葉道路の整備によって、安全で迅速な緊急走行が可能となり、搬送時間の短縮や、緊急患者の搬送先である病院選定の選択肢が広がります。さらに、大規模災害時の災害応援のアクセス道路として役立つと期待しています。



令和元年10月大雨時の周辺道路交通規制箇所

